



ひなどい



【教育目標】

なかよく せいっぱい
遊ぶ子ども

第3号 令和7年6月11日
新潟市立新津第三幼稚園だより



いちご畑にお出かけ

園長 大矢 晃子

5月29日に、全園児で遠足に出かけました。行き先は「いちご畑」です。年少組は、入園してから初めての遠足でした。大きなバスに乗って、いちご摘みをしたり、おいしいお弁当をみんなで食べたり、楽しい1日を過ごしました。

遠足の翌日、年少組の保育室には「いちご畑」ができていました。赤いいちごの実を作って、ごちそうにしたり、プレゼントにしたり、友達とやりとりを楽しむ様子がありました。



<年少たんぽぽ組 共通体験から遊びへ>



「寝ていると何だかいいことあるみたいだよ。」
「じゃあ、寝てみよう。」



いちご畑のAちゃんたちは、お家で寝ているBちゃんたちにいちごを届けることにしました。「寝ているかなあ」「そうだ！サンタさんになってプレゼントしようよ！」

園の玄関前には、春からいちごの苗を植えたプランターが置いてありました。子どもたちは毎朝、登園してくると、プランターをのぞき込み、「花が咲いたね。」「あ！ちっちゃないちごができてるよ。」「早く赤くならないかなあ。」といちごの生長の変化に気付き、真っ赤ないちごになることを楽しみにしてきました。このワクワク感は、遠足の期待へと高まって



いきました。いちごに関心をもって出かけた子どもたちは、いちご畑に着くと、「いいにおいがする！」「いろいろな形があるね」など、いちごを摘むことだけでなく、様々なことに気付いていました。

子どもが自ら興味・関心をもち、心を動かす経験は、幼児期に育みたい学びにつながります。このように何気なく置かれたプランターや、園の畑でいちごを植えたのも、子どもたちが心を動かす経験につながるよう、意図的に環境を用意したものです。

採れたての赤くて大きないちごは、甘くて美味しかったですね。



新津第三小学校・幼稚園合同避難訓練



幼稚園引き渡し訓練



交通安全教室



6月16日は全市一斉地震対応訓練が実施されます。これは、昭和39年6月16日に新潟地震が発生し、多くの被害があった日です。園と小学校では、6月10日に、地震想定の手合避難訓練を行いました。非常ベルの音を聞き、遊びをやめて先生の傍に集まること、放送を聞いて先生と一緒に避難することなどを体験しました。また、6月6日に園では災害時の引き渡し訓練も行いました。日頃から大切な命を守るための訓練を行い、万が一の時に備えていきたいと思ひます。

5月21日、秋葉区交通安全係の方々、新津駅前交番のお巡りさんから、交通安全について話を聞いたり、横断歩道の渡り方などを教えてもらったりしました。

地域の方と一緒に、お花を植えました



お花はマリーゴールドとペチュニア。
花言葉は・・・？



今年度も、新津西部コミュニティ協議会のご厚意により、園にお花を届けていただきました。地域の方々と触れ合える良い機会だったので、子どもたちと一緒に花を植えていただくことにしました。「きれいな花を育ててくださいね。」「水やりもお願いしますね。」という話をよく聞いていて、子どもたちも、自分で植えた花を大事しようという気持ちになりました。玄関前に植えたプランターを置きましたので、朝の水をやりながら、季節のお花を楽しんでください。